

○議長（小林哲雄）

続いて、日程第2 議案第61号 平成25年度開成町一般会計補正予算（第4号）を議題といたします。予算書の説明を順次担当課長に求めます。

財務課長。

○財務課長（加藤順一）

1 ページ目をお開きください。

議案第61号 平成25年度開成町一般会計補正予算（第4号）。

平成25年度開成町一般会計補正予算（第4号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。第1条、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,950万4,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ49億3,120万7,000円とする。

2、歳入歳出の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

地方債補正。第2条、地方自治法第230条第2項の規定による地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

平成25年10月30日提出、開成町長、府川裕一。

次のページをお開きください。第1表、歳入歳出予算補正です。歳入、13款国庫支出金1億1,500万4,000円の増、20款町債8,550万円の減、この2款につきまして合計2,950万4,000円の増。

右のページにまいりまして、歳出、3款民生費、4款衛生費、この2款につきましては財源更生で、補正額としてはゼロ円です。7款土木費474万7,000円の増、13款予備費2,475万7,000円の増、合計2,950万4,000円の増額補正をするものでございます。

次のページをお開きください。第2表、地方債補正。起債の目的、南部地区土地区画整理事業支援債、補正前額3,150万円、補正後額ゼロ万円、福社会館改修事業債補正前額5,400万円、補正後額ゼロ円、合わせて補正前額8,550万円、補正後額ゼロ円、これは事項別明細書のご説明の中で出てまいります。地域の臨時交付金を活用することで、この事業の財源として予定しておりました起債を取りやめるというものでございます。

ここで16ページ、最後のページをご覧いただきたいと思います。地方債の前々年度末及び前年度末における現在高並びに当該年度末における現在高の見込に関する調書です。ただいまの説明は整理したものですが、一番下の欄でございます、補正前の額の当該年度起債見込額、合計6億4,150万円から補正後の当該年度起債見込額5億5,600万円に改め、年度末現在高が56億6,987万4,000円となります。

では、補正予算の詳細を歳入歳出予算、事項別明細書によりご説明いたします。

10ページをお開きください。

○企画政策課長（亀井知之）

2、歳入、13款国庫支出金、2項国庫補助金、6目総務費国庫補助金、説明欄1、地域の元気臨時交付金でございます。地域の元気臨時交付金は、国の緊急経済対策において追加される公共投資の地方負担が大規模であることから、緊急経済対策の迅速かつ円滑な実施ができるよう、地方公共団体が作成した実施計画に基づく事業に要する費用に対し交付されるものでございます。

町では、25年度実施事業経費のうち、後に出てまいります福祉会館管理事業、南部地区土地区画整理事業支援事業、グリーンリサイクルセンター利用促進事業、この3事業の町債と一般財源の代替分として活用することといたしました。

○財務課長（加藤順一）

20款町債、1項町債、2目土木債、説明欄1、南部地区土地区画整理事業支援債3、150万円の減、4目民生債、説明欄1、福祉会館改修事業債5、400万円の減、以上二つは地方債の補正でご説明しましたとおり、また、ただいまの説明のとおり、地域の元気臨時交付金を活用することで、新たな起債を減額するというものでございます。

次のページをお開きください。3、歳出、3款民生費、1項社会福祉費、6目福祉会館管理費につきましては、補正額はゼロ円ですが、財源として国庫支出金を充てることで、町債と一般財源の当てを減額する財源更生となります。

4款衛生費、1項保健衛生費、3目環境衛生費も補正額はゼロ円ですが、財源として国庫支出金を充てることで、一般財源の手を減額するという財源更生となります。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

7款土木費、2項土木橋りょう費、1目道路維持費、説明欄1、道路維持管理業務の道路維持補修工事、こちらは通学路の安全対策として、町道223号線、町道229号線及び町道235号線の一部路側帯をカラー舗装するものです。金額としましては295万1,000円。

続きまして、7款土木費、4項都市計画費、1目都市計画総務費、説明欄1、経常的一般管理の南部地域将来構想作成委託です。金額につきましては179万6,000円、こちらにつきましては、開成駅を中心といたしました、南部地域の新市街地の未来構想図のイメージ図の作成業務を委託するものです。

○財務課長（加藤順一）

ただいまの都市計画総務費では、この目に含まれます、南部地区土地区画整理事業支援事業に国庫支出金を充てることで、町債と一般財源の減という財源更生をあわせて行います。

次のページをお願いいたします。13款予備費です。今回の補正で剰余となります額を予備費とするものでございます。

説明は以上です。よろしくご審議賜りますよう、お願いいたします。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

2番、高橋久志議員。

○2番（高橋久志）

2番、高橋です。国の地域の元気臨時交付金、1億5,000万円余が入ってくると、これは経済対策の一環というふうに私は捉えているわけですが、この原資となるものについては、町からの説明を一応受けているところでございますけれども、松ノ木河原とか、中家村公園、その他を含めて事業での関係がこれに含まれると。

そこで地方単独事業並びに公債対象となる国庫補助事業、法令に基づくものだと思いますが、私の受けとめ方として、地方単独分、あるいは起債の部、これはもう一度申しわけございませんけれども、内容的に該当する事業の項目について示していただきたいと思っております。

二つ目は、今回の元気臨時交付金というものは、今年度限りで承知をしているところですが、こういった国のさまざまな経済対策、これを積極的に受け入れながら、今後も国のこういった原資を今後必要があれば受けていくと、こういうことだと思うんですけれども、それでよろしいのかどうか、お伺いいたします。

○議長（小林哲雄）

企画政策課長。

○企画政策課長（亀井知之）

お答えいたします。今、議員からお話ございましたように、今回の臨時交付金につきましては、実際に充てるものと、それから予算に計上しました事業とが、ちょっと食い違っているというふうになります。その詳細ということでございますので、既に全協等でご説明をしているとは思いますが、一応申し上げますと、金額の積算基礎となった事業につきましては、対面性状調査、路面の性状調査の委託費、それと松ノ木河原公園の整備工事費、中家村公園の整備工事費及び開成小学校の大規模改修工事、いずれも平成24年度の一般会計補正予算6号に計上した経費ということになっております。

これにつきまして、追加公共事業でございますので、その地方負担額1億6,404万円でございますが、地方の財政力を勘案して、0.7掛けをしまして、結果として1億1,500万4,000円という数字になったものでございます。

それと2点目のご質問でございます。交付金今年度限りということで、今後も積極的に活用するのかなというふうなご趣旨だと思いますけれども、今回につきましては、国のほうで緊急経済対策を行うに当たりまして、地方のほうの負担がかなり大きくなるだろうということで、臨時的に行われるというふうに認識いたしております。

したがって、今後、これから継続するというようなことは考えられませんけれども、町といたしましては、このような交付金、交付される場合には、財源が浮くということがこれは明らかにでございますので、お話があれば、積極的に活用していくと、このように考えてございます。

以上です。

○議長（小林哲雄）

1 番、菊川敬人君。

○1 番（菊川敬人）

1 番、菊川です。7 款の土木費で道路維持管理費のところであります。道路の舗装化、カラー舗装するということですが、そのカラー舗装する詳細をもう少し教えていただきたいということと。あと、その下の南部地区将来構想図の作成委託がありますが、この部分で、町で今度未来図を委託するわけですけれども、現在行っております、組合施行の南部開発のほうと、どうリンクさせていくのかなということがちょっと見えにくい部分がありますので、町で作成した未来図を、組合施行にも導入していくのか、どういうふうに連携をとっていくのかということをお教えいただきたいと思っております。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

ご質問にお答えします。まず、1 点、カラー舗装の具体的な内容ということで、内容につきましては、今考えているのは、道路の路側帯ということで、道路の横にある白線の内側のところにつきまして、カラーの塗料をアスファルト舗装の上に塗るような形になります。幅的には、今、30センチ幅で塗るという形で考えております。これにつきましては、松田警察との協議の中で、カラー舗装する場合、15センチ以上の幅を確保しないと、効果が出ないという指導がありましたものですから、近隣の調査の中で、やはり30センチというのが多い形になりましたので、そういう形で、側線のカラー舗装をするようになりました。

続きまして、2 番目の南部地区未来構想図の作成ということで、現在、南部地区土地区画整理事業が進んでいますけれども、こちらにつきましては、南部地区の区画整理組合でもある程度の構想がある中で区画整理を行っていますけれども、今回行うのは、それ以外のエリア、南部地域という形の中で、開成駅周辺の土地区画整理区域とあとそれに続く南部地区の一体的な新しい市街地のほうの構想図ということで、一応南部地区のほうの構想の中も取り入れた中で、ただ、その中でどういう町を新しくつくるのかという部分につきましては、町の考え、構想をまとめた中で、イメージ図というものを作成していきたいというふうに考えております。

○議長（小林哲雄）

菊川議員。

○1 番（菊川敬人）

1 番、菊川です。カラー塗装については、大体イメージはできるんですが、例えば、これから冬場になりますと、暗くなるのが早いんですね。そういうときに、下校する際に、カラー塗装の部分が、塗装した効果が発揮できているのか。夜、例えば光るような夜光塗料みたいなものであればよくわかるんですが、そういうような性質のものではないんですか。夜、暗くなれば見えないという感じのものでよろしいのでしょうか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

ご質問にお答えします。今考えているカラー舗装につきましては、一般的な路側帯にあります、グリーンとか、赤とか、そういう色のものと同等のカラー舗装という形で、今言われました夜光するような蛍光色のものというものは、今考えておりません。

○議長（小林哲雄）

菊川議員。

○1番（菊川敬人）

ちょっとしつこいようなんですが、あと心配するのは、雨の日の滑り、塗装をすると、アスファルトの上にペンキを塗ると、非常に滑るんですけども、その辺のところはいかがでしょうか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

濡れた場合の舗装の滑りということで、具体的なデータというのはいないんですけども、若干滑りやすくなるかと思うんですけども、ただ、それが転ぶとか、そういう形での危険なものではない、そのためには、一般的に普及されているというふうに私たちも判断しています。

○議長（小林哲雄）

7番、茅沼隆文議員。

○7番（茅沼隆文）

7番、茅沼です。2、3点お聞きしたいことがあります。この元気臨時交付金の件ですけど、先ほど松ノ木河原や中家村公園等々、開成小学校も対象として検討したということですが、国からの案内によりますと、別表2で、防災安全交付金の対象事業ということで、都市公園事業、この中で地域防災計画に位置付けられたものであるということで、特定地域公園事業に対しても補助があるような表現がされているんですけども、中家村公園は地域防災計画でも避難場所として指定されて、確か2、250人ですか、避難可能人口だと位置付けられて、こういう中で、中家村公園の工事については先般入札が行われて、6、880万円で落札されているわけですけども、これは対象にならなかったのかどうか確認をいただきたい。多分起債していないから、対象じゃないという返事だろうと思うんですけど、その辺を確認させてください。

それからもう1件、今、同僚議員からも質問が出ました南部地域の将来構想作成委託、かねてからこの南部地区がどういう町並みになるのかというイメージ図、青写真を早く町民に公開していけば、この夢のあるすばらしい市街地がこういうふうになるんだよという、町民にとっても非常に明るい見通しができるので、早くこれを提示していただきたいということのかねて議会でもお願いしたところですけど、このイメージ図、いつごろまでに、今日の議決次第ですけども、いつごろまでにつくることができて、いつごろ町民に公開できるのかという点を一つ教えていただきたい。

それから、先ほどの町道の通学路のカラー化ですけれど、これは通学路の安全性を高めるものであって、これは早急にやっていただきたいと思うんです。これも議決次第ですけれど、いつごろまでに完成される予定なのか、タイムスケジュールをご提示いただきたい。

○議長（小林哲雄）

財務課長。

○財務課長（加藤順一）

1点目の中家村公園が、この当て事業に該当しなかったのかというご質問でございます。先ほど企画政策課長の説明の中にありました、補正予算の関係で、前年度中に予算化してございます。国から来る積算の根拠としては、それを十分充てるということでございます。

24年度の補正予算で繰越明許しておりましたので、歳入予算としては25年度です。25年度の予算につきまして、24年度の予算には充てることはできませんでしたので、そこには充てることはできません。24年度の事業として位置付けられたものについて、25年度に入ってくるお金を充てることはできないと、そういう整理がありましたものですから、新たな事業をご案内したとおりの形で充てているものでございます。

1点目は以上です。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

2点目のご質問にお答えします。南部地区未来構想図のスケジュールですけれども、こちらのほう、議会の予算が承認された中では、構想の取りまとめ等を行った中でイメージ図を完成させますので、来年の3月までの完成を予定しております。

あとカラー舗装につきましては、こちらにつきましては基本工事の執行自体は年度の中で行うということで、具体的な日にはまだ決定していませんけれども、2月までには、その工事のほう、2月末には終わりにさせたいと考えております。

○議長（小林哲雄）

茅沼議員。

○7番（茅沼隆文）

7番、茅沼です。この中家村公園がなぜ該当できなかったかというのは、ちょっと私も国の資料を読んでいて、なかなか理解しにくいところがあったので、今の説明で十分納得できたかということ、ちょっとまだ疑問が残る点がありますけれど、いずれにしても、こういう臨時の交付金を手に入れることができたということは大変よいことなので、行政当局のご苦勞に敬意を表したいと思います。また、これからこういうふうな飛び込みの件がいろいろと出てくると思うんですね。国や県の動きをよく注視して、なるべく多くの交付金を勝ち取っていただけるようお願いしたいと思います。

それから、南部の将来構想、来年の3月までという、来年の3月には酒匂川2号

橋がもう開通しますよね。あの辺の交通量等々も随分変化ができて、もう南部の町並みはどうなるんだろうという心配する人も結構出てくると思うんです、その時点では。だから、私が思うには、来年の3月では余りにも遅過ぎる、もっと早目にやっていただきたいなと思います。今、10月末ですけれど、こういうのは一、二カ月たてばできるんじゃないかなと思うんですけれども、ぜひ早目にやっていただきたいと思います。

以上です。

○議長（小林哲雄）

ほかに質疑ございますか。

11番、井上宜久議員。

○11番（井上宜久）

11番、井上です。1点だけ、駅中心とした未来構想図、今、菊川議員、茅沼議員から質問が出されましたけれども、私も非常にこの構想については今出されましたけれど、期待をしているところです。

以前も何回か、できるだけ早くこういった未来図をつくってほしいよ、絵を描いてほしいと要望したところですが、今のイメージ図そのものがまだはっきりしていないという問題がありますので、もう少し具体的にイメージの範囲ですか。

例えば、駅前の区画整理というのは、確か29.2ヘクタールぐらい未開発になっているわけですが、そういったものを含んだ形で未来図をつくっていただくのかどうか。

それとただ単に未来図をつくっていただくだけでなく、町としては、こういう内容を盛り込んだ未来構想図をつくってほしいというのも、ある程度、町の考えも強く出していくべきではないかなと思いますので、ぜひ、その辺のもう少し、ただ単に未来図をつくるのではなくて、町の要望というか、そういう課題というか、そういう盛り込む必要があるんじゃないかなというふうに思いますので、その辺の考え方をお願いしたいと思います。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

井上議員のご質問にお答えします。まず、イメージ図の全体的なものということで、現在考えているイメージ図というものは、先ほど言いました、開成駅を中心とした南部地区全体、簡単に今考えていますのは、酒匂川のほうから開成駅を臨んで、今、整備されている南部土地区画整理事業及び駅前通り線などを中心とした将来的な構想図というものでイメージを考えております。

あと一点につきましては、開成駅西口から駅前通り線を中心とした、あそこに1本新しい道路がつながる、将来的に駅前通り線の区画整理も予定されていますので、そういった中での新しい通りを中心とした町並みというもののイメージ図等をつくりたいというふうに考えています。また、それにつきましては、町の総合計画、マスタ

ープラン等で示されている町の構想等を取り入れた中で、そういうイメージ図をつくっていききたい、そういうふうを考えています。

○議長（小林哲雄）

井上議員。

○11番（井上宜久）

11番、井上です。そうしますと、酒匂川から西側という形になると思うんですけど、当然、駅の東側も含まれるということでもいいんですね。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

議員のご指摘のとおり、開成駅東口も、そのイメージ図の中には取り込むような形を考えております。

○議長（小林哲雄）

井上議員。

○11番（井上宜久）

茅沼議員のほうからも言われていましたけれども、できるだけ早く作成していただいて、できるだけ町民に公開できるような形をしていただきたいと思います。絵を描いていただくだけでも、町民そのものは少し安心するのではないかなと、このまま放置していきますと、今、駐車場が大分立っていますけれど、また、隣の町のようにいろいろなものができてくると、開発ができなくなってしまうということもありますので、できるだけ早く将来構想を書いてもらって、それを検討して、できるだけ、実際に進めていただきたいと思いますというところまでを要望していききたいと思います。

○議長（小林哲雄）

1番、菊川敬人議員。

○1番（菊川敬人）

1番、菊川です。私も先ほど南部開発の組合施行とどう連携とるんだというようなお話をしたんですが、今、お二方が言われるのと全く同じようなことを考えていたわけです。本来ならば、開発をするに当たって、初めの計画の段階で将来構想がなきゃいけないというふうに思うんですね。将来的にこういう形にしたいので、ですから、こういう開発を進めていくというのが、一つの筋通りじゃないかと思いますので、できるだけもう開発もそろそろ終盤に入ってくるわけですから、できるだけ早くのうちにその姿というのを町民に示してやるべきかと思いますので、そのところで、この作成は急務かなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○議長（小林哲雄）

2番、高橋久志議員。

○2番（高橋久志）

私からも、もう一点質問させていただきたいと思います。町道舗装管理事業として、今回295万1,000円計上されております。路線については三つの説明があった

ところですが、今後、町として新たにこういった維持管理の舗装事業をする場合についてはカラー化を前向きに検討して進めていくと、これは今回、カラー化については初めての提案というふうに私は受けとめておりますけれども、まちづくりの一環として、今後もこういった事業については進めていくということなのか、説明をお願いいたします。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

ご質問にお答えします。現在、町では路面性状調査ということで、町内の舗装の調査をした中で、打ち替え計画をつづっております。その中で今回、この箇所を指定したという部分では、まず、路肩が30センチ以上でカラー舗装できる場所、また、通学路という部分の中で箇所を指定しました。

今後につきましては、路面性状調査に基づく舗装の打ち替えとあわせの中で、通学路を優先的にカラー舗装できるところは計画的に実施していきたいと考えております。

○議長（小林哲雄）

7番、茅沼隆文議員。

○7番（茅沼隆文）

7番、茅沼です。ちょっと私の質問というか、説明が足りなかったようなので追加したいと思うんですが、南部土地区画整理事業の将来構想図というのは、最初の方に、カラーで書いた図面がというか、絵がありましたよね。今回の将来構想のイメージ図というのは、それを町民に公開できるようなレベルに書き直すというふうに理解しているのかどうか、お聞きしたいと思うのですが、もともと固有名詞を出しちゃいけないかもしれませんが、小田急でいろいろとイメージをつくって、五つの公園をつくったり、緑が豊かな散歩道みたいな、緑道と言っていましたか、それをつくるとか、そういうことが提示されておりましたよね。それを町民に公開できるようなレベルにするということではないかと思っているんですが、その辺はいかがですか。それとももともと根本的に変わってしまう構想図ですか。

○議長（小林哲雄）

街づくり推進課長。

○街づくり推進課長（熊澤勝己）

今の南部地区の未来構想図のイメージ図として考えておりますのは、南部地区土地区画整理事業で出されたイメージ図というものは、あくまでも区画整理事業の中のイメージという形になりますので、町の将来的な構想、計画というものが入っていない部分があります。今回つくるのは、町がどういう新しい町並みをつくっていくのか。また、先ほど言いました酒匂川2号橋の開通、あと山北開成小田原線と都市計画道路の開通という部分での、ハード的な部分が整備された中で、どういう新しい町並みをつくっていくのかという部分について、新たに町として住民の方にお示しできるよう

な図をつくっていききたいというふうに考えています。

○議長（小林哲雄）

8番、山田貴弘議員。

○8番（山田貴弘）

8番、山田貴弘です。このたび、元気臨時交付金、四つの事業の算定により1億1,500万4,000円という金額が示されたのは理解するところであります。そのような中で、このたび、臨時交付金を活用した中で、予算ベースの部分を示された状況がある中で、この三つの事業を絞り込んだ根拠というのですか。例えば、福祉会館、土地区画整理、グリーンリサイクルセンター三つ上がっているんですが、これを例えば2点に絞るという形にして、1億1,504万円ですよね。これを使い切るという方法が考えられなかったのか。そこら辺に疑問があり、グリーンリサイクルセンターについては地方債を残すという形の中で、今回の予算計上がされていますが、そこら辺の三つの事業を示した根拠というものを答弁もらいたいのと。

あとグリーンリサイクルセンターの今言った地方債の償還期間、何年まで償還するのか。そこ2点、よろしくお願いします。

○議長（小林哲雄）

財務課長。

○財務課長（加藤順一）

まず、今年度の事業として、当て事業を三つに絞り込んだ根拠、考え方でございますけれども、一番最初にありましたのが、先ほど企画政策課長から申し上げました、条件的に地方債の発行、国庫補助の単独分とか、そういったような要件を事業的に全部並べてみました。その中でまず考えましたのが、そもそも経済対策として前倒しでやった分として、地方債の発行が1,500万円ありました。それを前年度中に予算化いたしました。それはある程度、本来でしたら25年度中に予定していたものの前倒しということで、事業を膨らましたわけなんですけれども、その当初に持っていた地方債予定額は1億1,400万円ということで、約4,800万円の地方債を経済対策とすることで膨らましてということがございます。

今回につきましては、せめてその膨らんだ分については元に戻したいという部分がございます。まずそれを考えまして、そうしますと、ただ、具体の地方債が充てている事業、ぴったり同じになるわけはございませんので、それを上回るという部分で選択をしたという部分がございます。地方債計画を大体当初の計画に近づくものにしていききたいという部分で、新たにそこで生み出されました一般財源の部分でございませぬけれども、そういった部分は、また別途の活用、今回に提案させていただいた事業等に活用していくと、そういった部分でございませぬ。

山田議員のおっしゃるとおり、1本事業で充てるといった場合、その部分のうまく組み合わせができなかったのと、今回も実はそうなんですけれども、今、予算ベースで当て事業を考えてございますが、最終的には実額ベースでもう一度整理し直す必要があるといった部分で、何本かを候補として挙げているという状況でございませぬ。

次のGRCの起債部分を残しているという部分でございますが、これにつきましては、まだ、今年度の予定として、借り受けの条件等が定まっているものではございません。おおむね20年程度を考えているところでございます。

○議長（小林哲雄）

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

お諮りします。質疑を打ち切り、討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ご異議なしと認め、採決いたします。

議案第61号 平成25年度開成町一般会計補正予算（第4号）、原案に賛成の方の起立を求めます。

（起立全員）

○議長（小林哲雄）

お座りください。起立全員によって、可決いたしました。

以上をもちまして、本10月会議の日程は全て終了いたしました。これにて散会いたします。ご苦労さまでした。

午前9時38分 散会